

「しまね移住フェア・しまね暮らしマルシェ in 東京」に参加しました

黒川 龍

松江北高 1997 年卒、48 期

(2026 年 1 月近況報告)



2025 年 11 月 30 日(日)、東京・有楽町「東京国際フォーラム」で開催された「しまね移住フェア & しまね暮らしマルシェ in 東京」にサポートスタッフとして参加いたしました。

当イベントはふるさと島根定住財団が主催しています。単なる移住相談にとどまらず島根の暮らしや魅力をまるごと関東在住のみなさんに体感してほしいという想いのもと、2024 年から移住相談ブースに加え「しまね暮らしマルシェ」を合同開催し、物販や飲食、体験コーナーを出店。会場内は約 60 ブース、非常に大きなイベントとなりました。

飲食ブースを支えるサポートスタッフは、島根に関心を持つ「関係人口」として公募で集まり、イベント運営を裏方から支えています。私自身、10 年前に移住フェアへ参加したことをきっかけに島根の“今”がもりあがりを見せていることに驚き、それ以来、県内全域に知人を増やし、ふるさとに誇りをもって過ごせるようになったため、思い入れの深いイベントです。このような過程で知り合った友人が一昨年度、サポートスタッフとして参加していたことを知り、島根を通じて人が生き生きとしていく場に再び立ち会いたいと思い、昨年に続いて応募しました。

当日はやきそばや漬け丼のブースを担当し、主に裏方として運営を支えました。多くの来場者と接する中で、島根の食や人の魅力が自然と伝わっていく手応えを感じました。島根県知事から直接激励の言葉をいただいたことや、在京の北高同級生によりかけたところ来場してもらえたことも印象的で、貴重な交流の機会となりました。今後もこうしたイベントを通じ、島根の魅力を体感し、共有できる仲間を増やしていきたいと思えます。

